おかえりなさい 世界のナーファンチュ

第4回世界のウチナーンチュ大会那覇市関連事業

市では、「第4回世界のウチナーンチュ大会」の関連事業として、「那覇市いちゃりばチョーデー交流パーティー」と「ふるさとナーファ巡り」を開催し、世界各国からふるさとを訪れたナーファンチュのみなさんを歓迎しました。

10月13日にぶんかテンプス館1階テンプスホールで行われた「那覇市いちゃりばチョーデー交流パーティー」には、世界のウチナーンチュ大会に参加するため海外から来沖された市出身のみなさま約230名と、多くの市民・市関係者が参加。なーふぁんちゅとナーファンチューが一緒になって余興やエイサーに声援や歓声を上げるなど、和やかな雰囲気で行われたパーティの最後には、参加者全員でカチャーシーを踊り互いの交流を深めていました。

また、10月14日に行われた「ふるさとナーファ巡り」では、首里城や玉陵（たまうどぅん）、識名園などの市内観光地のほか、開発の著しい新都心地区や小禄具志堂城地区などを巡り、ふるさと那覇の移り変わりや那覇の歴史・文化まちづくりを実体験していただきました。

市では、これらの事業を通して、移住者世代の功績に敬意を表すとともに、2世・3世といった次世代の人材と、市民・市関係者との交流を図り、世界に広がるナーファンチュネットワークの発展を目指していきます。

那覇市いちゃりばチョーデー交流パーティー・ふるさとナーファ巡りについては、平和交流・男女参画室 ☎861-5195

ホノルル市長を那覇市国際親善名誉市民に

那覇市とホノルル市が、1961年に姉妹都市を提携してから今年で45年目となります。

両市は、姉妹都市締結後、文化友好親善使節団の相互派遣や、児童生徒交流団の派遣など文化・経済交流を深めています。

また、姉妹都市締結25年を記念して始まった「NAHAマラソン」は、いまや国内を代表する一大スポーツイベントとなり、毎年、多くのジョガー、ボランティア、沿道から声援をおくる人々の感動と友情の輪が広がっています。

市では、今後の両市の友好親善を更に深めるため、「第4回世界のウチナーンチュ大会」に出席するためホノルル市長を那覇市国際親善名誉市民として顕彰しました。

また、那覇市・ホノルル市の姉妹都市締結45周年を記念して、漫湖公園内にピンクシャワーの木3本を植樹しました。

平成18年度 第14回「那覇の景観賞」を選定

すてきな那覇みつけました！

市では、個性を活かした美しいまちづくりを進めるため、那覇の歴史性と地域性豊かな都市景観を「まもり・そだて・つくる」ことを目的に、昭和60年に都市景観条例を制定し、都市景観に著しく寄与している建築物を「都市景観賞」として表彰しています。

第14回の今年度は、以下の4件に決定しました。

景観賞に選ばれた4件は、いずれも地域に潤いと安らぎを与え、美しい那覇の景観を形成する上で手本となるもので、その波及効果が大きく期待されています。

お問い合わせ 都市計画課 ☎951-3246

豊見城邸の石垣と屋門

古都首里の中でも、特にその石垣が巡り、首里金城地区都市景観形成地域の象徴的存在として、地域の景観に対する貢献度も高い。

宇栄原3丁目赤嶺家のヒンプン

沖縄の伝統的建築の屋根囲いに数多く見られるヒンプンの中でも、特に緑の屋敷林と石垣に囲まれた様は、沖縄の風土を表現したものとなっている。

クレッセント石畳道

沖縄の歴史的町並みに見るなど、沖縄の伝統・風土にマッチングした景観を形成している。自治会の定期的な清掃活動によって、美観が保持されている。

マリア保育園と教会

木々に囲まれたコンクリート打放しと赤瓦の外観が、緑のじゅうたんを敷き詰めたような芝生の広場が心地よい景観を提供している。

真和志地域と小禄地域で

コミュニティバスの実証実験が始まります

円滑な都市交通体系の構築をめざして

市では、誰もが安心して住みよいまちづくりを目指しています。

その一環として、自家用車からモノレールやバスなどの公共交通機関への転換を図り、交通渋滞の緩和及び交通事故を減少させることにより、円滑な都市交通体系の構築を目指す必要があります。

現在、市内には、既存のバス停やモノレール駅などから遠い、いわゆる交通不便地域が少なからずあります。

このことから、住宅地と公共公益施設、医療施設、商店街、モノレール駅やバス停などを結び地域のみなさまの利便性の向上と、公共交通機関の利用促進を図ることを目的に実証実験を行います。

今回の実証実験では、バスの乗降客数や運行ルート、運行間隔などの情報を収集・分析し、バス事業者による本格運行に向けての可能性を検討していきます。多くの市民のみなさまに利用していただきたいと願っております。

コミュニティバスを導入することにより、お年寄りや体の不自由な方々など、移動に制約のある方々にとっても、極力利用しやすいバス交通とし、その外出意欲を高め、寝たきり予防策の一助となる。また、自家用車数の減少と交通渋滞の緩和を図り、市民の安全を確保することで、交通事故防止に寄与できることが期待できます。

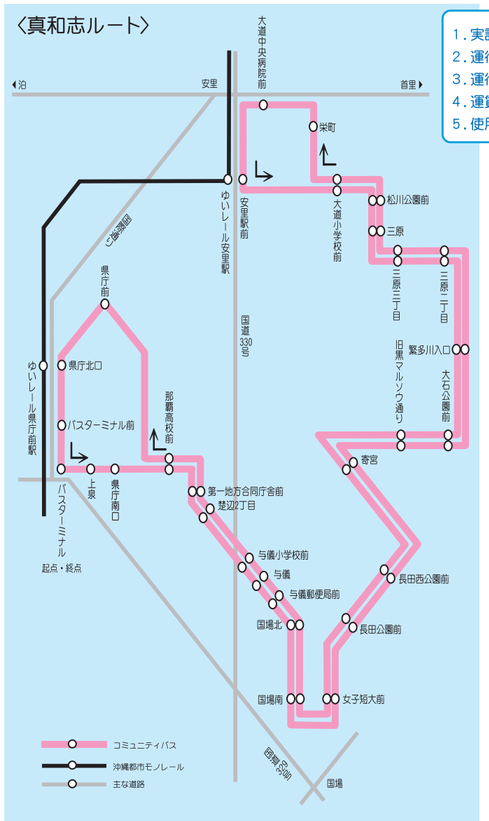
今回の実証実験運行は、公共交通利用不便地域と市中心部およびモノレール駅の結びつきを強める真和志ルートと、地区内住宅地とモノレール駅および周辺商業施設（小禄駅前、赤嶺駅前）などとの結びつきを強める小禄ルートの2ルートで実施されます。

両ルートともに、モノレール駅が身近になり、利用促進が図られる。ルート内の学校に通う児童生徒の利便性が高まる。モノレール小禄駅・赤嶺駅・安里駅周辺商業施設の利用がしやすくなり、街の活性化につながるなどの効果があります。

お問い合わせ先 都市計画課 ☎951-3246

真和志ルート

1．実証実験期間	平成18年11月6日～平成19年2月(予定)
2．運行時間	午前6時30分～午後９時(予定)
3．運行ピッチ	20～30分間隔程度
4．運賃	大人200円　子人100円
5．使用するバス	小型バス

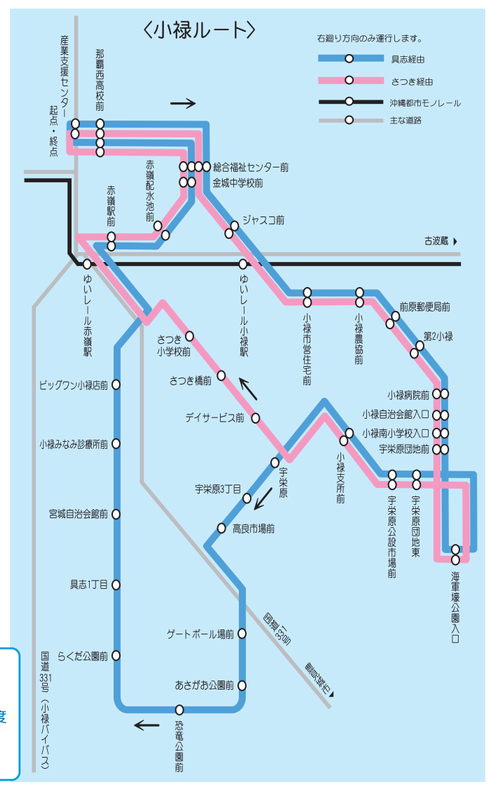


＊両ルートともに、運行期間、運行時間帯、バス停留所名・位置などについては、若干の変更がある可能性があります。

＊実証実験は90日を予定していますが、乗客数の利用状況によっては、運行期間を調整します。

小禄ルート（さつき小経由、具志経由）

1．実証実験期間	平成18年11月～平成19年2月(予定)
2．運行時間	午前6時40分～午後９時(予定)
3．運行ピッチ	さつき小経由20分間隔程度、具志経由30分間隔程度
4．運賃	大人150円　子人80円
5．使用するバス	中型バス



住民基本台帳法の一部を改正する法律により、平成18年11月1日からは、営利を目的とした住民基本台帳の一部の写しの閲覧はできません。詳しくは市民課へお問い合わせください。☎862-3274　市民課